

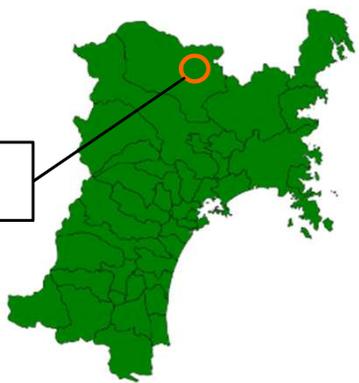
農地整備事業地区の概要

- 事業名：農業競争力強化農地整備事業
- 地区名：津久毛地区
- 受益面積：A=365.7ha
- 総事業費：7,259百万円
- 工期：R1～R8
- 農家戸数：329戸
- 関係市町村：栗原市
- 土地改良区：迫川上流土地改良区
- 導入作物予定：水稲、大豆、ばれいしょ等
- 地区の特徴・PRポイント

・地区内の法人を中心に、既に大規模な土地利用型農業が展開されており、当事業を契機に大豆等の転作作物作付け拡大を図るほか、高収益作物の栽培にも取り組む。また流域治水対策として、地区全体で田んぼダムの導入を行う。

県内位置図

- 位置 くりはらしかなり 宮城県栗原市金成



作付け計画・実績

- 【作付け計画(TPP計画)】
 - ばれいしょ A=5.0ha
 - 秋冬ねぎ A=4.2ha
 - ズッキーニ A=0.2ha
- 【作付け実績(R5)】
 - ばれいしょ A=1.0ha(未整備)
 - たまねぎ A=0.4ha
- 【作付け実績(R6)】
 - ばれいしょ A=1.9ha
 - たまねぎ A=0.7ha

取り組み内容

- 【担い手の状況】
 - ・当地区の担い手は、個別14名、法人3組織。
 - ・高収益作物の取組は、1法人、1個別担い手が中心となって取り組みを開始している。
- 【課題とその対応状況】
 - ・大規模面積での取組を目標として、担い手、関係機関による話し合いを重ね、令和5年度から、試験ほ場(A=4.6ha)を活用した、試験栽培を開始。
 - ・試験栽培にあたっては、ソフト事業(農地耕作条件改善事業(高収益作物転換型))を活用。
- 【今後の展開方向】
 - ・他の担い手も巻き込みながら、規模拡大を図る。

地区位置図・実践エリア

津久毛地区 平面図



写真①(R6.4.11撮影)



写真②(R6.4.11撮影)

